

白旗校便り

明日はきっといい日になる

～希望に満ちあふれた2026年へ～

80日間の長かった2学期を本日終えることが出来ました。思えば、8月11日の大雨や、また、熊本地震を思い起こさせる11月の地震、インフルエンザ等の流行など、あらためて、自然災害や感染症の流行から命を守る意識の大切さを感じた2学期でした。児童や保護者の皆様、教職員にも大きな事故等がなく、2学期を終えられることに感謝申し上げます。

本日の終業式では、2学期の学校生活を写真で振り返り、授業や学校行事での児童の頑張りを校長として評価いたしました。改めて、何事にも一生懸命で、何事も協力ができ、思いやりの心に溢れた児童ばかりであることを誇らしく思います。話の最後には、私が好きな歌のタイトルであり、長女の命名に込めた思いでもある、「明日はきっといい日になる」の話をしました。「暗い夜の闇が少しずつ明るくなり、山陰から眩しい朝日が差すのは、人の心と似ている。辛いことや悩みで心が暗くなることがあっても、太陽は必ず昇るように、心が明るくなるときは必ず来る。希望を持つて生きましょう。」と語りかけました。

2026年が児童・保護者の皆さん、先生方、地域の皆さんにとって希望に満ちあふれた年となりますことを心よりお祈りし、2025年最後のご挨拶とします。

白旗小学校便り
R7.12.24号
発行者
校長 宮川

本校地域ボランティアへの応募は
こちらから↓



地域や保護者との連携の一環として、PTA研修委員会主催の「親の学びプログラム」では保護者間の交流を図り、また、5年生総合的な学習では、「木村のあられ」プロジェクトの授業として、児童のアイディアを基にした試作品のあられの試食会がおこなわれました。

親の学びプログラム



5年生あられプロジェクト



2年生おもちゃランド



2年生の一大イベントであるおもちゃランド。本番は1年生をゲストに、趣向を凝らしたおもちゃの数々が披露されました。1年生も大喜びで、1歳しか違わない2年生がとてもお兄さん、お姉さんに見えました。

白旗路を駆ける～持久走大会開催～



晴天の下、12月12日(金)に糸田地区にて実施しました。道路使用許可等の課題から、ロードを走る学校は減っているように感じますが、当日は多くの応援の保護者に背中を押された児童の力走が見られました。

1月の予定です



- 1/8 (木) 3学期始業式・大掃除
- 1/13 (火) 教育相談旬間
- 1/15 (木) 委員会活動・愛校の日
- 1/20 (火) 給食集会
- 1/22 (木) 午前4時間授業、給食後下校 (職員の研修会のため)
- 1/26 (月) 性に関する指導週間
- 1/29 (木) クラブ活動・愛校の日

※毎月10日はチェンジチャレンジSNSデー